第 3 章

生きがいと活力に満ちた

生涯学習の総合推進

基本方針や目標を具現化し、達成するための施策について述べています。



佐渡市生涯学習推進計画の策定についての答申書提出(平成19年2月5日)

第1節 推進組織の整備と活動の充実

【現状と課題】

市民一人ひとりの多様な生き方を支援し、生きがいと活力に満ちた生涯学習を総合的に推進するために、市民の様々な学習要求に的確に応え、その成果を地域づくりの活性化に生かすことが必要です。

そのためには、組織の整備充実が必要であり、全庁的な視野による改善策等を協議するための生涯学習推進本部、生涯学習推進計画の進捗状況を把握し、評価・改善等を図るための生涯学習推進会議の設置など、行政内の連絡・調整組織の整備充実と活性化を

目指します。



第8回 生涯学習推進会議(平成19年1月)

- (1) 全庁的視野で取り組む生涯学習の推進
 - 生涯学習推進本部会議による庁内各部(課)との連絡調整
- (2) 生涯学習推進会議委員の定期的な会議の実施
 - 生涯学習推進会議での事業の評価と改善
- (3) 本庁、事務所、各種団体との連絡調整
 - 生涯学習関連事業連絡調整会議の実施

第2節 学習機会の提供

【現状と課題】

情報化社会の進展、生活水準の向上、価値観の多様化に伴い、市民が要望する学習要求も多種多様となっています。そのために、市民の求める学習要求を的確に把握するとともに、学習情報を収集し、発信する生涯学習情報システムを確立し、情報提供に努める必要があります。また、市民一人ひとりの学習ニーズに応え、適切なアドバイスを与えるなど、学習を支援し、促進する指導者やリーダーの養成及び学習相談体制の整備・充実が求められます。

市民が「いつでも・どこでも・だれでも」学べるために、学習活動を支援する学校施設や社会教育施設など、生涯学習関連施設を整備し、多様な学習機会の提供を目指します。

1 学習機会の整備拡充

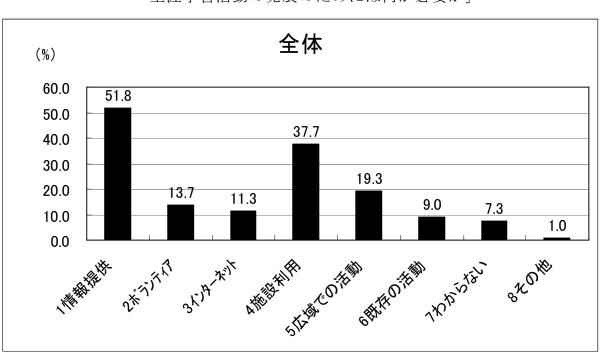
庁内各部局との連携を一層進めるとともに、市民に必要とされる学習課題に対応した学習機会の提供に努めていきます。

- (1) 各部局間の連携、ネットワーク化の推進
 - 各部局の生涯学習関連事業の集約と調整
 - 各部局の担当者連絡会議の強化
 - 各部局の生涯学習関連事業に関する情報提供窓口の一本化
- (2) 必要課題の解決を目指した学習機会の提供
 - 幼児・児童に対する学習機会の充実
 - 男女共同参画社会の推進
 - 団塊世代、永住者(U・I者)向けの学習機会の推進
 - 高齢者・障がい者の自立を図る学習の推進
 - 積極的な国際交流の推進
 - 地域課題や生活課題の調査と学習機会の推進

2 情報提供システムの拡充

市民の要望に応える情報をどのように収集し提供していくかを十分検討し、新たな情報提供システムを拡充していきます。

また、国や県からはインターネットを通じて様々な情報が提供されています。これらの情報活用を促進するとともに、国や県とタイアップして行う事業を展開する必要があります。



「生涯学習活動の発展のためには何が必要か」

(平成17年度 生涯学習に関する市民の意識調査)

- (1) 各地域の生涯学習活動情報の収集・提供・活用
 - CNSテレビを活用した生涯学習番組の編成
 - 生涯学習情報メディアへの市民参加の促進
 - 生涯学習ホームページの開設
- (2) 国・県の生涯学習情報提供システムの活用
 - ラ・ラネットの活用
 - 文部科学省のホームページの活用
 - 県の情報紙の活用(市の事業との共同開催)

3 学習相談体制の整備

佐渡市では、合併による相談対象の拡大と広域化により、生涯学習に関する市民の 問い合わせに十分応じられない現状にあります。

相談員を配置し、相談窓口を設置するため、市民ボランティアを活用するなど学習 相談体制の整備・充実を推進します。



生涯学習課 相談窓口

- (1) 市民の多様なニーズに応える学習相談体制の整備
 - 学習相談窓口の設置による相談システムの整備・促進
 - 専門知識を身に付けた学習相談員の養成
- (2) 学習相談に関する研修の充実
 - 学習相談ボランティアの養成を図る研修会の実施
 - 関係機関、団体等との連携による研修会の実施

4 生涯学習関連施設の整備

佐渡市になり、島内のどの地域に在住していても学習施設の利用が可能となりました。一方では、人口減少に伴い施設が十分活用されていないことも事実です。

今後は、島内の生涯学習関連施設を有効に活用していくために、施設の整理・統合や活用の促進を図る必要があります。そこで、施設の利用・活用例を整理した情報を提供できるようにしていきます。

全体 (%) 60.0 48.5 46.9 50.0 31.6 40.0 30.0 20.0 11.1 5.5 40 3.5 2.6 2.6 0.910.0 20 KE

「学習に活用した施設」

(平成17年 生涯学習に関する高校生の意識調査)

- (1) 既存学習施設の実態調査と有効活用
 - 民間学習施設(商工会との連携)の実態調査
 - 社会教育施設の実態・現状把握
 - 生涯学習関連施設の利用促進
- (2) 学習施設相互のネットワーク化の推進
 - 学習機関・施設・団体等のネットワークの開発
 - 各学校、体育館とのネットワークの開発
- (3) 学校施設の整備と開放の推進
 - 学校開放講座(中・高等学校)開催への支援
 - 学校施設開放の奨励
 - 学校施設開放に向けた施設の整備・充実

5 指導者の育成と人材バンクの整備

市民の多種多様化、高度化する学習要求に応えるために、様々な分野における指導者リストの整備が求められます。島内のみならず、島外にも視野を広げて新たな指導者の発掘を進めていきます。

また、島内においても様々なボランティア活動が行われ、環境、福祉、教育等あらゆる分野で、ボランティア人口が増加しています。

今後、多種多様化、高度化する学習要求に応え、ボランティア活動を推進するため に指導者の育成を図る必要があります。



トライアスロンボランティア活動

- (1) 多種多様化、高度化する学習要求に応える指導者の養成と確保
 - 各地区の研究者、有識者の参画講座の設置
 - 学校と市職員の人的・物的資源の活用
- (2) 各分野の指導者の発掘と指導システムづくり
 - 講師・指導者情報の収集
 - 各分野別講師の発掘と講習会の実施
- (3) ボランティアの指導者育成
 - ボランティア活動の分類、整理
 - ボランティア養成・育成・活用事業の推進
 - ボランティアの分野別指導者の募集

第3節 地域事業の充実と活性化

【現状と課題】

佐渡市は、10地区で地区公民館活動として地域性を生かした独自の地域事業を推進してきました。しかし、高齢化社会を迎えて地域の高齢化が加速し、事業を推進する主体や団体自体の存続が危ぶまれています。一方、少子化により地域から子どもの声が消え、地域の活力が減少していることも事実です。

このような状況の中で、団塊世代の熟年層や子育て中の母親・父親等に発信して、地域事業の再生、自主グループの組織化と奨励、世代間交流促進や新しい学習内容の掘り起こし等を進める必要があります。

今後は、佐渡市公民館と地区公民館、分館を組織化し、それぞれの役割を明確にするとともに、相互に連携して地域事業の充実と活性化を目指します。





分館対抗運動会

パソコン教室

- (1) 佐渡市公民館と地区公民館、分館活動の充実
 - 地区公民館連携のための協議会の推進
 - 公民館役員等研修会の充実
- (2) 学習団体・グループ活動の充実と連携
 - 自主活動の奨励、促進
 - 各団体活動の交流会の推進
- (3)世代交流の促進
 - 世代間の伝承の場の確保
 - 地域行事への参加促進

第4節 自然・環境保全活動の推進

【現状と課題】

地球レベルで環境破壊が進んでいる現代、資源の使い捨ての時代は終わりました。佐渡も例外なく、あまりにも利便性を求めたため、いろいろな環境問題が生じています。 物や自然の大切さが軽視されている現状から、自然環境を守る意識を高める必要があります。

佐渡市では、「佐渡市環境基本計画」や「佐渡市景観条例」が制定される予定となっており、美しい島佐渡、エコアイランド佐渡を目指す生涯学習としての取組がますます 重要となります。

佐渡の人々が、行政、企業、ボランティアと協力し合って次世代が安心して暮らせる 佐渡、豊かな自然をはぐくむ佐渡の環境づくりを推進することを目指します。

- (1) 行政、民間、各種団体との綿密な連携による事業の推進
 - 共通の問題意識を持つための研修の推進
 - 各種団体間の情報を共有化
- (2)環境保全と農林水産業のかかわりについての学習推進
 - ○トキの野生復帰に関する学習の促進
 - 里山の復活に関する学習の促進
 - 環境にやさしい農林水産業への理解
- (3) 資源の有効利用とゴミ対策学習の推進
 - 資源のリサイクルができる地域づくり
 - 空き缶などのぽい捨て防止等、環境美化への取組
- (4) 幼児から大人までの環境意識の高揚
 - 海岸清掃などの体験学習の啓発と促進
 - 看板の設置等の環境意識を高める啓発活動の推進
 - 地球温暖化に関する理解を深め、身近な問題としての学習の推進

第5節 歴史・文化の伝承

【現状と課題】

21世紀は地域の時代といわれています。佐渡のもつ風土・歴史的事実・優れた文化的特性を後世に伝え、「佐渡」という地域を学ぶことによって、島に誇りをもち、新しい佐渡を考えていくことが求められています。

「佐渡学」はそういった立場から、単に歴史や文化遺産という限られた範囲にとどまることなく、佐渡固有の自然・歴史・文化にまで範囲を広げた学習を推進していく必要があります。

古くから多様な文化を育んできた佐渡は、芸術活動の盛んな島でもあります。数多くの有形・無形の文化財をいかに保存・活用し、将来に伝えていくかが重要な課題となっています。

地域文化の発掘・伝承、新しい文化の創造は、佐渡の活性化、新たな島づくりに欠くことのできない要素と考えます。

佐渡市の世界文化遺産登録という視点からも新・旧文化を掘り起こし、整備することによって、芸術文化活動の活性化を目指します。

1「佐渡学」の推進

佐渡固有の自然・歴史・文化を学び、ふるさと意識の高揚を図ります。また、地域 に受け継がれた行事に参加することによって、地域文化の伝承と発展を図ります。

- (1) 「佐渡学」の体系化と共通認識の確立
 - 「佐渡学」の学習開発
 - 小・中学校期から一般までの「佐渡学」の推進
 - 「佐渡学」の学習内容の整理と保存
- (2) 地域文化の総合的理解と学習機会の提供
 - 佐渡固有の自然・歴史・文化を学ぶ学習の推進
 - 地域文化の継承と地域リーダーの養成
 - 地域での文化活動や行事への参加促進

2 芸術文化活動の推進

伝統文化を後世に伝えるために活動を支援するとともに、新しい文化活動を奨励します。また、学習施設を整備するとともに文化活動を活発にするために、情報の収集と提供に努め、指導者の確保と養成を図ります。



佐渡市展作品審査

- (1) 伝統文化の伝承と創造活動の推進
 - 伝統文化の指定と活動の奨励
 - 創作文化活動の支援
- (2) 芸術文化活動の支援と場の確保
 - 生涯学習施設の整備
 - 能舞台の保護と活用の促進
 - 佐渡市生涯学習センターの設置
- (3) 文化情報の収集と発掘、活用
 - 伝統文化の実態把握と文化情報システムの開発
 - 伝統芸能の共演と後継者養成のための研修会

第6節 生涯スポーツの推進

【現状と課題】

市民が生涯にわたり活力に満ちた日々を送るため、個々の体力や年齢、趣味や目的に 応じていつまでもスポーツに親しむことが必要です。市民のスポーツ活動を啓発・奨励 し、生涯各期にふさわしい多様な活動の機会を提供するとともに施設の整備や充実を目 指します。さらに、いろいろな障がいをもった人にも自分の適性に応じたスポーツが取 り組めるよう環境整備に努めていきます。

一方、少子高齢化とともに、食生活、運動不足等を起因とする生活習慣病が増えています。そのため、医療費や介護の負担増大が懸念されています。健康でありたいと思う気持ちは、共通の願いです。市民一人ひとりが主体的、積極的に健康づくりに取り組み、生き生きと活力に満ちた健康な生き方を目指します。

1 スポーツ活動の振興

島民誰もがそれぞれの体力、技術、年齢、趣味など目的に応じて、いつでも、どこで も、いつまでも、スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を推進します。

- (1) 佐渡の特長を生かした生涯スポーツの振興
 - 自然を活用したスポーツの拡充・支援
 - 地域ぐるみで発展したスポーツの伝承
 - スポーツの祭典の開催
 - ○「一人いちスポーツ」運動の啓発
- (2) 体力と技術向上のための施設の充実と指導者の確保
 - スポーツ施設の充実
 - トレーナーの育成と専門職員の配置
- (3) 競技団体の組織体制の充実と強化、育成
 - 競技団体の組織力向上の支援
 - 優秀な選手の育成
 - スポーツを通しての青少年の健全育成

2 健康学習の推進

生活習慣病は、その原因の大半が長年の誤った生活習慣によるものであることが判明しました。したがって、子どもの頃から、正しい生活習慣を身に付けることでかなり予防することができます。

生涯健康で明るく生きるために、健康管理の重要性について学習できる施策を展開します。そして、心身の健康に関心を持ち、健康について学ぶ場が提供され、生涯健康で生活を営むことができる社会の実現を推進します。



高齢者学級 世代交流会

- (1) 子どもの健やかな成長をはぐくむ学習活動の推進
 - 親子の健康づくりをはぐくむ学習活動
 - 育児支援事業の推進
- (2) 生活習慣病予防のための総合的推進
 - 基本健診の啓発
 - 健康教室・相談事業の推進
- (3) 高齢者の自立を図る学習活動の推進
 - 高齢者体力つくりの啓発、推進
 - 介護予防の啓発事業の推進
- (4) こころの元気づくり活動の充実
 - こころの健康に関する学習会の充実
 - 交流活動による人の和の拡大